

HA8000-ie / NetStorage120 ご使用上の留意事項

HA8000-ie / NetStorage120 のご使用に際しましては、下記のとおり各種留意事項がございますので、必ずご購入前にご一読いただきますようお願いいたします。

1. システムソフトウェアについて

【重要】

システムソフトウェアは日々更新しております。

過去の更新履歴には**データ損失の疑いのある不具合の修正及びセキュリティ上の脆弱性の修正等の極めて重要な修正項目が含まれております。**

常に最新のシステムソフトウェアを適用していただきます事を強く推奨いたします。

なお、最新版のシステムソフトウェアは以下のサイトからダウンロード可能です。

URL: http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/download/type/ha8000_ie.html

2. サポートしているクライアントOS、およびソフトウェアについて

- (1) Windows98 SecondEdition / Me / NT4.0+SP6a / 2000(SP4以降) / XP(SP1a)(注1)(注2)(注3)(注4)
- (2) Turbolinux Server 6.1(注3)
- (3) Red Hat Linux 6.2/7.1/7.2/7.3/9(注3)
- (4) HP-UX10.20(注3)
- (5) Mac OS 9.1 / X(注3)
- (6) NetWare Client for Windows(注3)

(注1): OfficeXP(サービスパックなし)または OfficeXP(サービスパック 1)をご使用の場合、NetStorage120上に存在する OfficeXP のファイルを開く際に、まれにエラーが表示されることがあります。このような場合、OfficeXP(サービスパック2)等の最新モジュールへアップデートすることをお勧めします。

(注2): Windows98 をご使用の場合、ログイン時に「ネットワークドライブ再接続時にエラーが発生しました」となることがあります。これは、ネットワーク上に「ブラウズマスタ」が存在しないために NetStorage120 の名前解決ができないことが原因と考えられます。このような場合、以下のいずれかの方法にて対策できます。

・クライアント PC の LMHOSTS ファイル上に NetStorage120 の名前および IP アドレスをマッピングする。

・クライアント PC にて、NetStorage120 の IP アドレスを指定してマウントする。

(注3): 機種依存文字が存在する場合、クライアントによってはファイル/フォルダの読み込みができない場合があります。(付録1参照)

(注4): WindowsXP ServicePack2の運用につきましてはいくつかの制限事項がございます。現在、その問題点について評価中のため、WindowsXP ServicePack2 はサポート対象外となっております。サポート方針が決まり次第、弊社 Web サイトにて公開いたしますので、今しばらくお待ちください。

3. NetStorage120 専用管理ツール(NetStorage120 Management Tool)について

本ツールがサポートしている OS は以下の OS です。

Windows98 SecondEdition / Me / NT4.0+SP6a / 2000(SP4以降) / XP(SP1a)

- (1) 簡易設定にて「IP アドレスを自動的に取得する」の設定を変更する場合、ネットワークの再設定のため、3分ほど時間を要する場合がございます。上記設定後に NetStorage120 を検出する場合は3分程度経過した後再度「検出」ボタンをクリックして下さい。

4. 管理ページのご注意

管理ページを表示する Web ブラウザは、Internet Explorer 6 以降をご使用ください。
その他の Web ブラウザを使用した場合、正しく表示されない事があります。

- (1) 管理ページを表示する際、Web ブラウザにおいて、「ページが見つからない」エラーとなる、または正しく表示されない場合がございます。その場合、メニューを再度クリックするなどしてリトライすることをお勧めします。
- (2) 管理ページにてデフォルトゲートウェイを設定しない場合(空白入力)は、以前に設定されていた内容を引き継いで反映します。デフォルトゲートウェイを設定する場合、そのアドレスが IP アドレスとネットマスクに正しく準拠する場合にのみ設定を反映しますが、正しく準じていない場合、エラーダイアログを表示します。
なお、環境によってゲートウェイを必要としない場合は、IP アドレスと同じアドレスを入力して下さい。

5. Netscape 7 使用時のご注意

Netscape 7 にて、アラートメールを受け取る際に、件名が文字化けする場合があります。

6. ユーザカウント/グループについて

接続クライアント OS が Windows98 SecondEdition または Windows Me の場合で、最大ユーザ数および、最大ローカルグループ数は 100 です。なお、ローカルユーザまたはローカルグループの数が多い環境では、管理ページおよびクライアントから NetStorage120 へのアクセスが非常に遅くなる場合があります。

- (1) Windows Domain、Bindery 連携時における Windows Domain / Bindery ユーザは最大 30000 ユーザ、Windows Domain / Bindery グループは最大 1000 グループまでです。なお、Windows Domain / Bindery ユーザまたは Windows Domain / Bindery グループの数が多い環境では、管理ページおよびクライアントから NetStorage120 へのアクセスが非常に遅くなる場合があります。
- (2) CSV ファイルまたは Windows Domain からユーザ/グループをローカルユーザ/ローカルグループとして 1 度に取り込める最大数は 1000 までです。
- (3) NetStorage120 の "admin" ユーザのパスワードに " !@#%&* <>/:'"()+¥?=` []" は使用出来ません。
- (4) ユーザ名/グループ名に設定できる文字数は最大 14 文字で、 " !@#%&* <>/:'"()+¥?=` []" は使用出来ません。また、ユーザ/グループ名の入力欄には、大文字で入力してください。
- (5) NFS(UNIX)環境では日本語(2 バイト文字)のユーザ名/グループ名は使用出来ません。
- (6) ローカルユーザのパスワードは、最大 14 文字で大文字 / 小文字の区別があります。また、 " !@#%&* <>/:'"()+¥?=` []" を使用することは出来ません。
- (7) Windows98 上から 13 文字以上のローカルユーザカウントを使用して NetStorage120 にアクセスすると、ローカルユーザカウントのホームディレクトリにアクセス出来ません。また、WindowsNT 上から 12 文字以上のローカルユーザカウントを使用した場合も同様にアクセス出来ません。
- (8) Apple クライアントにおけるパスワード長は最大 8 文字となりますので NetStorage120 上の Apple クライアントのアカウントには 8 文字以内のパスワードを設定する必要があります。
- (9) PDC (プライマリ・ドメイン・コントローラ) から NetStorage120 へユーザカウント / グループをローカルユーザ / ローカルグループとして取込むことが可能ですが、ユーザカウントを取込んだ場合は、NetStorage120 側でパスワード、所属するグループの再設定が必要となります。
- (10) ローカルユーザカウント / グループに対してクォータ機能(容量制限)により、使用できる容量の制限することが出来ますが、クォータを設定できるのは、NetStorage120 のローカルアカウントのみです。WindowsDomain ユーザ / グループ等のリモートアカウントに対して、容量の制限を行うことは出来ません。
- (11) ユーザカウントとグループの両方に容量制限を割当てた場合は、最初に容量制限に達した方が有効となります。
- (12) 一度クォータ機能を使用して容量制限を実施したユーザカウント / グループに対して、割り当て量を減らす設定を行った場合、新たに設定した割り当てを超えるデータが格納されていても、エラーメッセージは出力されず、新たな容量が設定されます。この場合、既に割り当て容量が一杯と見なされるため、新たな書き込みはできません。
- (13) Windows98 を使用するクライアント用のアカウント操作を行う場合、「アカウント管理」、および「セキュリティ管理」メニューでの設定を反映するためには、これらのメニュー画面の操作後に、「ネットワーク構成」 - 「CIFS」ページの「更新」ボタンを押下する必要があります。

7. 製品標準添付バックアップツール(NetStorage120 BackupTool)について

バックアップ方法は、ネットワーク経由でのバックアップのみとなります。またバックアップ先はディスク領域のみとなっております。バックアップする際に、設定情報等のファイルもバックアップされるため、共有フォルダにあるデータ総容量よりバックアップファイルの容量が大きくなる可能性があります。

- (1) バックアップしたデータは1つのファイルに固められるため、そのまま使用することはできません。バックアップしたデータを再び使用するためには必ずリストアが必要となります。
- (2) NetStorage120 のシステム情報をリストアする際に、バックアップ時と異なる RAID 構成の NetStorage120 に対してリストアを実施すると、実際の RAID 構成は変わらずに、管理ページに表示される RAID 情報のみがリストアされてしまうため、実際の RAID 構成と表示上の RAID 構成に差異が生じます。したがって、リストアする際はバックアップした NetStorage120 の RAID 構成と同じかどうかご確認のうえ実行してください。
- (3) スケジュールバックアップの設定をする際に NetStorage120 のインストール CD-ROM から直接バックアップツールを起動するか、もしくは NetStorage120 のインストール CD-ROM 内の「UTILITY」フォルダを C ドライブ直下 (C:\) にコピーしそのフォルダからバックアップツールを起動して下さい。
なお、CD-ROM から直接起動する場合は NetStorage120 のインストール CD-ROM を PC から抜かないで下さい。

8. シリアルポートについて

シリアルポートは UPS 接続専用となります。UPS 接続以外のサポートはしておりません。

- (1) UPS との接続は UPS に添付されている専用のケーブル(GH-LU7200)をご使用ください。
- (2) UPS 拡張ユニットをご使用の際には、UPS 拡張ユニットのポートによってケーブルが異なりますので下記および、最新版の構成ガイドをご確認の上ご手配ください。
 - ・Advanced Port に接続する場合は、UPS 添付のケーブル(GH-LU7200)をご使用ください。
 - ・Basic Port に接続する場合は、別売りのケーブル(GH-LU7100)をご使用ください。
- (3) UPS との連携は管理ページを用いて行います。
- (4) PowerChute はサポートしておりません。

9. 共有フォルダおよびファイルに関する注意事項

- (1) NFS (UNIX) 環境では使用する OS により日本語(2バイト文字)表示が文字化けする場合があります。
- (2) 管理ページから作成できる共有フォルダ名は、大文字で最大12バイト(半角:12文字、全角:6文字)で、“~!@#\$%^&*<>/:\"'()+|¥?=`[]” は使用出来ません。
- (3) 共有フォルダは階層構造を作成できません。したがって、共有フォルダの下に共有フォルダを作成することはできません。
(ユーザが共有フォルダの下に通常のフォルダを作成することは可能です)。
- (4) クライアントにログインしているユーザ名で認証されない場合は、ID、パスワードの入力の画面が表示されます。
- (5) Windows クライアントから NetStorage120 の共有フォルダをネットワークドライブ接続している場合、ドライブのプロパティ表示でディスクの使用量を参照することは出来ません。
- (6) 管理ページから、NetStorage120 全体のディスク使用量は参照できますが、個々の共有フォルダについて使用量を確認することはできません。

- (7) 管理ページの「管理ページ」 - 「ストレージ管理」 - 「ファイル管理」ページから共有フォルダに対する操作を行うことはできません。
管理ページよりこれらの操作を行う場合、「管理ページ」メニューをクリックし、表示されたボリュームをクリックして操作して下さい。
- (8) NTFS がサポートしている stream ファイルはサポートしておりません。
したがって、stream ファイルを NetStorage120 に格納した場合、クライアント PC から stream ファイルを構成するいくつかのファイル(数字のランダムな羅列と ” : ” を組み合わせたファイル) が表示されてしまう場合がありますが、NetStorage120 の動作には影響ありません。

10. ファイル属性に関する注意事項

Windowsクライアントから、NetStorage120上のファイルのプロパティを参照した場合、表示される属性については、下記の通りの制限があります。

- ・ 「セキュリティ」タブ :
ご使用になれません。
- ・ 「アーカイブ」 :
ファイルの作成者のみ変更可能です。他のユーザはファイルへのアクセス権がフルアクセスでも、この属性を変更することは出来ません。
- ・ 「隠しファイル」 :
この属性は設定することが出来ません。属性にチェックし、「適応」をクリックしても、再度ファイルのプロパティを参照した場合は、チェックが外れています。
- ・ 「読取専用」 :
ファイルの作成者のみ変更可能です。ファイルの作成者がこの属性にチェックをしている場合、他のユーザはファイルに対してフルアクセスの権限を持っていても、クライアント PC からは当該ファイルを削除することはできません。
読取専用ファイルの削除は、ファイルを作成したユーザがクライアントPC から行うか、管理ページから実行して下さい。

11. アラートメールに関する注意事項

- (1) 重要なイベントが発生した場合に、イベント情報をメールにて送付することが出来ますがメールサーバの他にDNS(ドメイン・ネーム・サーバ)が必須となります。
- (2) 装置形名GJ0NS126-54NN1N0のNetStorage120において、二重アクセスでの運用時にGatewayを二つ設定している場合、アラートメールの送信機能はサポートしておりません。

12. SNMP によるエラー通知について

- (1) ご使用のSNMPマネージャ(JP1等)によっては、イベントIDのみ表示されることがあります。
(発生したイベントとイベントIDの対比につきましては、「付録. 4」を参照願います)

13. NFS に関する注意事項

ファイルのロック機能について

共有フォルダを NFS マウントしているとき、プラットフォームによっては共有フォルダ内のファイルに対して OS のファイルロック機能が使用できないことがあります。

この現象は、一部のプラットフォームで使用しているシステムコール `fcntl()` の仕様が異なり、NetStorage120 が提供しているファイルロック機能に対応していない際に発生します。

そのため、システムコール「`fcntl()`」を利用してファイルロックを行っているプログラムの中には正常に動作しないものがあります。

(1) マウントについて

NetStorage120の共有フォルダをUNIXサーバAからNFSでマウントし、さらに別のUNIXサーバBからUNIXサーバAの共有フォルダをマウントしたディレクトリを二重にマウントする運用はサポートしておりません。

(2) NetStorage120に対し、ファイルロック機能が使用可能であることが確認されているプラットフォームは以下の通りです。

- Red Hat Linux 6.2 / 7.1 / 7.2
- TurboLinux Server 日本語版 6.1
- Solaris8 for x86 10/01、for SPARC 4/02

(3) NetStorage120に対し、ファイルロック機能が使用できないことが確認されているプラットフォームとプログラムは以下の通りです。

- プラットフォーム：HP-UX 10.20
- プログラム：SORT Version6

14. MacOS 使用時のご注意

本製品は、AFP over TCP/IP の接続をサポートしております。

したがって、Mac クライアント側では TCP/IP に関する設定で「Ethernet」を使用することで、TCP/IP 経由でのアクセスが可能となります。合わせて Ethernet の設定で、IP アドレス等の設定も行ってください。

- (1) MacOS X から NetStorage120 にログインする際は、クリアテキストパスワードを使用した認証のみログイン可能です。
- (2) MacOS X から NetStorage120 にファイルをコピーする際に、クォータ等により容量を超えた場合プログレスバーがフリーズする場合があります。
- (3) MacOS からファイル名の最後にスペースを入れたファイルを作成した場合、Windows クライアントからアクセスできません。
- (4) AFP プロトコルをご使用になる場合、サポートしている NAS 上の共有フォルダの数は 255 個までです。

15. ARCserve 使用時のご注意

(注意) 装置形名: GJONS128-FQNN1N0の NetStorage120 では ARCserve をサポートしておりません、また、ARCserve7 は既に販売を終了しており、サポートについても2005年3月までとなっておりますので、バックアップにつきましては製品添付のバックアップツールをご使用頂くことを推奨いたします。

本製品に対応している ARCserve 製品は、BrightStor(TM) ARCserve(R) 7 for Linux Advanced Edition Certified English on Japanese のみとなっております。

テープデバイスに直接 NAS 上のユーザデータを保存する場合には、オプションの SCSI ボードに DAT チェンジャを接続し、ARCserve(Version7 のみ対応)ソフトウェアを利用してバックアップしてください。

本ソフトウェアに含まれる InocuLAN および Oracle Agent は、NetStorage120 上では動作しません。

- (1) ARCserve を使用して、ディレクトリ名に日本語が使用されているディレクトリを指定して、バックアップする事は出来ません。ただし、指定したディレクトリ(英数字のディレクトリ)以下に、日本語が含まれる場合はバックアップする事が可能です。
- (2) ファイル一時保管機能(スナップショット)で作成されたファイルのバックアップはサポートしておりません。
- (3) ARCserve を使用して、差分バックアップ/リストアをすることはできません。
- (4) ARCserve を使用して、1つのファイルで 2GB 以上のサイズのファイルをバックアップ/リストアすることはできません。
- (5) 他のバックアップサーバのテープデバイスに NetStorage120 上のユーザデータを保存する場合には、ネットワーク上の他のバックアップサーバから NetStorage120 を認識させて、ネットワーク経由でデータを保存してください。ARCserve7 for Linux Client Agent for Linux を NetStorage120 上にインストールする事により、ARCserve7 を実装した他のバックアップサーバへのデータバックアップが可能となります。
なお、バックアップソフトウェアによりクライアントエージェントが必要になる場合や、サポートされない場合がございますので、事前にバックアップソフトウェアの仕様をご確認願います。

16. Windows NT ドメインコントローラとの連携時のご注意

- (1) WindowsNT 3.51 よりアップデートした WindowsNT 4.0 のドメインコントローラとの連携はサポートしておりません。
- (2) NetStorage120 とドメインコントローラが別のセグメントに設置している場合、WINS サーバによる名前解決が必須になります。
- (3) ドメイン間で信頼関係が結ばれている場合でも、NetStorage120 が参加しているドメインサーバのユーザ/グループしか管理できません。
- (4) バックアップドメインコントローラ(BDC)との連携はサポートしておりません。また、BDC が存在する環境での運用はサポートしておりません。
- (5) Windows 環境でドメイン連携した場合、1時間毎にリモートユーザ/リモートグループ情報の同期をとりますが、この同期を行う際にネットワークに高い負荷がかかっていると、まれにドメインサーバとの同期に失敗する場合があります。この際、イベントログに GID_UID エラーが表示されることがあります。
- (6) PDC と連携して (PDC のアカウントを使用して) NetStorage120 にアクセスする場合、PDC 内に「Administrator」という名称のアカウントが存在することが必要です。
ただし、Administrator アカウントには管理者権限を必要としません。

17. Windows 2000 Active Directory との連携

Windows2000 の Active Directory サービスにおけるドメイン操作モードは、混在モードのみをサポートします。ネイティブモードでは連携できません。

- (1) 複数のドメインとの連携は出来ません。
- (2) 20 文字(20 バイト)を超えるユーザ/グループを管理する場合、NetStorage120 との連携できません。
- (3) Windows 環境でドメイン連携した場合、1 時間毎にリモートユーザ/リモートグループ情報の同期をとりますが、この同期を行う際にネットワークに高い負荷がかかっていると、まれにドメインサーバとの同期に失敗する場合があります。

18. 二重アクセス使用時のご注意

- (1) 二重アクセス設定で、一番目の LAN ポートと二番目の LAN ポートの両方を同一 LAN セグメント環境とすることはできません。これは、NetStorage120 や PC-UNIX OS をベースとしたシステムにおける共通の制限事項となっております。2 番目の LAN を同時に使用する場合には、各々、別の LAN セグメント環境でご使用下さい。
ただし、フェイルオーバーおよびロードバランス設定はこの限りではありません。

19. ファイラー一時保管機能(スナップショット)についてのご注意

- (1) ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)を利用できる構成は、ファイルシステムが EXT2 でかつ RAID5、または RAID5 [with 1 Spare] の場合のみです。これ以外の構成では、ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)を利用できません。ただし、RAID5、または RAID5 [with 1 Spare] 以外の RAID 構成の場合でも、ファイラー一時保管領域は消費されます。
- (2) ファイラー一時保管領域(スナップショット領域)がいっぱいになると、ファイラー一時保管領域(スナップショット領域)のデータはすべて削除されます。このとき、Web/GUI の「管理ページ」-「ストレージ管理」-「ファイラー一時保管」のページを再更新しないと再びファイラー一時保管機能(スナップショット機能)を利用することはできません。
- (3) ファイラー一時保管領域(スナップショット領域)が 80%を超えた場合には、警告メールが送信されますが、100%になった場合は送信されませんのでご注意願います。
- (4) スナップショット取得時に "_snap" 以下のフォルダにアクセスしている場合、設定した時間になってもスナップショットは取得されません。
- (5) Web/GUI の「管理ページ」-「ストレージ管理」-「ファイラー一時保管」で、すべてのファイラー一時保管機能(スナップショット機能)を無効に設定して「更新ボタン」を押した場合でも "_snap" フォルダが作成されますが、スナップショットの取得は行われません。
- (6) ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)は時間毎に3世代、日/週毎に1世代の合計5世代分の設定が存在しますが、実際に設定できるのは時間毎/日毎/週毎のいずれか1種類のみです。つまり、時間毎であれば3世代、日毎/週毎であればそれぞれ1世代分のファイラー一時保管機能(スナップショット機能)が利用できます。

また、ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)の設定を変更する場合は、1 度すべての設定を無効(「一週間に一度スナップショットを取得する」 OFF、「一日に一回スナップショットを取得する」 OFF、「指定した時間毎に取得する最大スナップショット数」 0)にして更新ボタンを押してから行ってください。

- (7) **ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)を利用するとファイルの書き込み性能が著しく低下します。**
([ディスクキャッシュ=OFF、スナップショット=取得しない] 場合と比較して、1/3 ~ 1/5 程度になります)
したがって、書き込み性能を重視したい場合は、ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)をすべて無効に招待した上でご使用頂くことを強く推奨いたします。(「一週間に一度スナップショットを取得する」 OFF、「一日に一回スナップショットを取得する」 OFF、「指定した時間毎に取得する最大スナップショット数」 0)

1: 他サーバのバックアップを取得する等、連続して大量のデータを書き込む必要がある場合等。

- (8) **ファイラー一時保管機能(スナップショット機能)とディスクキャッシュ機能を同時に使用する事は出来ません。**

ディスクキャッシュを有効に設定する場合は、必ずファイラー一時保管機能(スナップショット機能)をすべて無効に設定してください。(「一週間に一度スナップショットを取得する」 OFF、「一日に一回スナップショットを取得する」 OFF、「指定した時間毎に取得する最大スナップショット数」 0)

20. 最大同時アクセス数について

- (1) 最大同時アクセス数は標準構成(256M Byte メモリ搭載)で最大 100 です。ただし、最大同時アクセス数はメモリ容量、AFP/NCP/CIFS など複数のプロトコルの使用状況、CIFS のセキュリティ設定、共有フォルダ数により変動いたします。詳細は運用ガイドをご参考下さい。

21. PCI スロット使用上の制限

- (1) 2つの PCI スロットに 2つの SCSI カードを装着し、それぞれの SCSI カードに DAT チェンジャーを 2台接続して、バックアップ/リストアする運用はサポートしていません。

22. ファイルの絶対パスに関する注意事項

- (1) Windows98 クライアント PC で扱えるファイルの文字数制限は絶対パスで 255 バイトまで、Windows2000、XP クライアント PC で扱えるファイルの文字数制限は絶対パスで 255 文字(1 バイト文字も 2 バイト文字も 1 文字とカウント)までです。

23. ファイルシステムについて

- (1) 本製品では、Ext2 のみサポートしています。Ext3 はサポートしていません。

24. UPS について

- (1) 「管理ページ」-「システム設定」-「UPS」における「シャットダウンまでの間隔」は、お使いの UPS がバッテリーバックアップ可能な時間の範囲内でご指定ください。
また、バッテリーの経年劣化により、UPS のバックアップ時間は短くなりますので、余裕を持った時間をご指定ください。なお、バッテリーは有寿命部品ですので、定期的な交換をお勧め致します。
- (2) UPS 拡張ユニットをご使用時、Basic Port と NetStorage120 を結ぶシリアルケーブルの接続状態は監視していません。このため、シリアルケーブルが抜けるなどした場合でも、システムログおよび警告メールで通知しません。必ず、シリアルケーブルを接続する場合、コネクタの脱落防止ネジを確実に締めてご使用ください。
- (3) 停電時に Synchronous Mode が有効の場合、NetStorage120 がシャットダウン後、UPS はスリープモード(UPS の電源出力が停止)となります。
しかしながら、Synchronous Mode が無効の場合、NetStorage120 のシャットダウン後、UPS がスリープモードとならず、バッテリー残量が無くなるまでバッテリー給電を続けます。このため、頻繁に停電となる環境でお使いになられる場合には、Synchronous Mode を有効にしてお使い頂くことをお勧めします。
- (4) 停電により UPS バッテリーを使い切る運用はお避けください。必ず、バッテリー容量を考慮し NetStorage120 がシャットダウンするまでの時間「シャットダウンまでの間隔」を設定してください。UPS バッテリーを使い切る運用の場合、復電後にバッテリー容量が低下しているため、バッテリー容量が低下した旨の信号が UPS から送られるため、NetStorage120 は起動直後にシャットダウンする場合があります。
また、UPS のバッテリーを使い切る運用は UPS 自体の寿命を著しく短くするため、そのような運用は避ける事をお奨めします。

25. ハードウェア障害により NetStorage120 が自動でシャットダウンした場合の対応について

- (1) FAN 故障が推測される場合は、CPU 放熱のため少なくとも 1 時間は装置を起動せずに放置してください。放熱後 NetStorage120 を起動し、イベントログに FAN の異常が記録されていた場合は、すぐに装置をシャットダウンし、保守員までご連絡ください。

26. HDD 障害時について

- (1) HDD 障害検出時は、NetStorage120 の電源を絶対に OFF にしないで下さい。
また、「すべての構成をデフォルトへリセット」、「RAID の再構築」および「ソフトウェアのアップデート」は行わないでください。これらはいずれもお客様データ消失の原因となります。
- (2) HDD を交換する場合は必ず電源が ON の状態になっていることを確認の上 HotSwap で交換願います。電源が OFF の状態での HDD の交換はお客様データ消失の原因となります。

27. WINS サーバとの連携時の注意事項

- (1) WINS サーバから NAS の登録レコードを削除すると WINS サーバでの NAS の名前解決が失敗し、Windows ブラウザから NAS をブラウジングできなくなることがあります。
このような現象が発生した場合、NAS を再起動することで解決できることがあります。

28. 半角カタカナ文字について

- (1) NetStorage120 のフォルダ/ファイル名に対して、半角カタカナ文字は極力使用しないで下さい。
ご使用のアプリケーションによっては、これらの出力先に NetStorage120 を使用する際、ファイル名/フォルダ名に半角カタカナを使用すると、正しく動作しない場合があります。

29. WWW アクセスについて

- (1) Windows98 クライアントから WWW プロトコルを使用して NetStorage120 にアクセスする場合、使用可能なブラウザは Internet Explorer 6.0 以上となります。

30. 最新版 HA8000-ie/NetStorage120 ソフトウェアアップデートパッチの入手について

NetStorage120 のソフトウェアは適宜アップデートされております。下記に示す Web サイトにて、HA8000-ie/NetStorage120 のソフトウェアアップデートパッチをダウンロードする事が可能となっております。必要に応じて、最新版へのアップデートを実施してください。

なお、アップデート方法につきましては、ダウンロードしたファイルに含まれている手順書をご参照ください。

- (注意): 製品ご購入後は、必ず下記Webサイトをご覧になり、最新版のパッチがアップデートされていないかご確認願います。最新版のパッチがアップデートされていた場合はNetStorage120にパッチを適用してから、製品をご使用していただくことをお勧めします。

URL: http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/download/type/ha8000_ie.html

31. 最新の留意事項について

NetStorage120 の留意事項は適宜アップデートされております。下記に示す Web サイトにて、最新版の留意事項を入手してください。

URL: <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/prod/ie/NetStorage120/spec.html>

以上